

その後、茶話会を開いたとき、各先生がたが一言ずつ何か話をする事になったそうです。私はそのときい  
なかつたのですが、川村さんは舟の上から海底にいる魚をほこでつく話をされたそうです。ところがその  
真剣なお話しぶりにすっかり魅せられてしまい、それから、川村先生、川村先生といってみな慕うよう  
になったというのです。順心高等女学校にも指導に行ってもらったのですが、川村さんが行かれたために、  
その学校の校風が変わったといわれるほどでした。

戦争がだんだん激しくなり、学校は閉鎖されてしまったので川村さんは青森県のご郷里大間に帰られた  
のです。帰ってから大間町長の選挙に出られたことがありました。非常な雄辯家でその誠実のこもった雄  
辯に感動しない者はありません。大間町の青年たちがみな川村さんの味方になり、当選は確実といわれた  
のに選挙の前の晩、反対派が金をばらまいたため、惜しいかな当選されなかつたのでした。私は応援に来  
るようにとの電報をいただいたのですが、それがあと一日、明日が選挙というときだったので間に合わず  
行けなかつたことがありました。

川村さんはそれから弘前に行かれ、非常に苦勞されたのですが、後には弘前に川村速記学校を建てられ  
指導にあたつておられます。指導を受けた学生たちは弘前青果会社の副社長山本忠道さんをはじめ立派に  
成人していますが、みな川村さんの徳を慕い、何かあるとみな集まってきます。

川村さんはその誠実な人柄が買われ、弘前市内のPTAの連合会長に選ばれていましたが、たまたまP